

# 平成 30 年度 社会福祉法人 天理市社会福祉協議会 事業報告書

平成 30 年度事業計画の基本方針に則り、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現をするために、行政・区長連合会・民生児童委員・長寿会連合会・障害者福祉団体連合会・ボランティア活動団体等とも連携しながら、地域に密着した事業に取り組み、地域福祉の推進役としての役割を果たしました。

また、高齢者・障害者（児）・子育て家庭・生活困窮者など、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来るよう、地域のつながりや、仕組み作りの推進に努めました。

そして、地域や関係団体のニーズに応えられる組織として、効率的で安定した経営を目指すとともに、指定管理者制度の施設を継続的に受託できるよう取り組みを進めながら、住民からの信頼にも応えられる組織として、次の重点項目を掲げ事業を推進しました。

## 【1】法人運営

組織運営のため理事会、評議員会及び監事会を開催しました。

### ◎成果と評価

社会福祉法の改正に伴い、より一層、経営組織のガバナンス（統治、または、そのための体制や方法）の強化・事業運営の透明性の向上・財務規律の強化を図りました。理事会・評議員会・監事監査を適正に実施し、安定した協議会の運営をおこないました。

引き続き、安定した経営を行っていきます。

### ◆理事会 3回開催

回数／日時／会場／出席者	議 題
第 1 回 平成 30 年 5 月 31 日（木） 午前 10 時 5 分～午前 11 時 15 分 天理市役所 4 階 特別会議室 理事 6 名 監事 1 名	審議事項 (1) 評議員の推薦の同意を求めることについて (2) 評議員選任・解任委員会の委員の選任について (3) 専決処分の承認を求めることについて (4) 平成 29 年度 社会福祉法人 天理市社会福祉協議会 事業報告並びに収支決算について
第 2 回 平成 30 年 6 月 21 日（木） 理事 10 名 監事 2 名 ※理事会の決議省略により審議事 項を決議しました。	審議事項 (1) 常務理事の選定について

第3回 平成31年3月19日(火) 午後2時～午後3時10分 天理市役所 4階 特別会議室 理事10名 監事2名	審議事項 (1) 専決処分の承認を求めることについて (2) 補正予算の承認を求めることについて (3) 平成31年度 社会福祉法人 天理市社会福祉協議会 事業計画書(案)並びに資金収支予算書(案)につ いて
--	---

◆評議員会 2回開催

回数/日時/場所/出席者	議 題
第1回 平成30年6月21日(木) 午前10時00分～午前11時 天理市役所 5階 533会議室 評議員15名 監事2名 会長	審議事項 (1) 理事の選任の承認を求めることについて (2) 専決処分の承認を求めることについて (3) 平成29年度 社会福祉法人 天理市社会福祉協議会 事業報告並びに収支決算について
第2回 平成31年3月28日(木) 午前10時00分～午前11時 天理市役所 5階 533会議室 評議員17名 会長	審議事項 (1) 専決処分の承認を求めることについて (2) 補正予算の承認を求めることについて (3) 平成31年度 社会福祉法人 天理市社会福祉協議会 事業計画書(案)並びに資金収支予算書(案)につ いて

◆監事監査

期日/場所	内 容
平成30年5月21日(月) 午後1時30分～午後3時 天理市社会福祉協議会 会議室 監事 2名	監査事項 平成29年度の事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財 産目録についての監査

【2】地域福祉活動の推進

住み慣れた地域において、誰もが安心して生活ができるような、地域のつながりづくりの場をとおして、住民が相互に支え合い、生きがいづくり・仲間づくりの輪を広げ、住民の孤立感の解消、地域の見守り活動、閉じこもり予防や介護予防、健康の維持向上を図ることを目的とし、現在実施しているサロンの支援・新たなサロンの立ち上げ支援などを行い、地域福祉の推進に努めました。

◎成果と評価

地域福祉活動の推進のために開催している「地域福祉活動研修会」は今年度で6回目を迎えました。講演では、奈良県社会福祉協議会の岡本晴子主幹を迎え、「つながり・見守り・支え合いのヒント」と題してお話をいただきました。その中で、身近な事例を挙げながら参加

者に問い掛けられ、グループワークでは参加者同士の様々な意見交換をとおして、自分の住んでいる地域の『つながり・見守り・支え合い』のために何ができるかの気づきと発見をしていただいた研修会となりました。

また、「ふれあいサロン交流会」では、市内でサロン活動を行っている団体が交流・情報共有し、参加者を増やす方法・サロンの運営になどの意見交換を行い、今後の活動に繋がる交流会となりました。

## (1) 地域福祉活動の推進

### ①小地域における支え合い活動の推進・ふれあいサロンの推進

小地域福祉活動推進マニュアルを活用しながら、小地域ネットワーク形成の支援を行うと同時に、ホームページや「地域福祉活動研修会」をとおして新規サロン設立の呼びかけを行いました。

また、現在サロンを実施している団体に対しては、相談支援（講師の紹介・備品の貸出し等）を行いました。その他、市広報紙「町から町へ」に記事を掲載し、助成を希望されるサロンを募集し、共同募金の財源を基に助成を行いました。

### ②地域福祉を推進する人材育成

ふれあいサロンを実施している方を対象に、講演や意見交換等の内容で「地域福祉活動研修会」と「ふれあいサロン交流会」を開催しました。

地域福祉を支援する人材の育成と活動の必要性を学ぶことを目的に行い、多数の参加をいただきました。

#### ◆ふれあいサロン交流会

期日／場所	内 容
平成 30 年 7 月 25 日（水） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 天理市社会福祉協議会 会議室 参加人数 13 名	・サロンの紹介 ・グループワーク テーマ 「地域でのサロンの役割について」 ・ニュースポーツの紹介・実践

#### ◆地域福祉活動研修会

期日／場所	内 容
平成 31 年 3 月 15 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 4 時 天理市市民活動交流プラザ大会議室 参加人数 41 名	〈講演〉 ○「つながり・見守り・支え合いのヒント」 講師 奈良県社会福祉協議会 主幹 岡本 晴子氏 ○ワークショップ

## (2) ふれあい教室の実施

高齢者が要介護状態になることを予防するため、各校区公民館において健康体操、音楽療法、作品作りなどの教室を開催しました。参加人数は、下記のとおりです。

### ◎成果と評価・今後の課題

高齢者がふれあい教室に参加することにより、介護予防だけでなく高齢者の閉じこもり防止や参加者相互の交流に繋がりました。

今後も多くの方に参加していただけるよう、プログラムの充実および広報活動に努めていきます。

### ◆参加人数

(単位：人)

公民館名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
丹波市	20	10	20	21	※②	18	22	16	22	18	16	16	199
櫟本	17	18	21	16	13	15	16	14	15	14	14	14	187
二階堂	16	14	14	※①	15	13	13	17	12	15	17	18	164
朝和	11	13	18	11	10	9	15	18	19	18	17	20	179
東部	20	21	19	16	16	14	16	19	19	17	19	22	218
前栽	11	11	12	6	12	8	12	12	9	18	14	13	138
祝徳	18	23	21	22	18	15	19	14	18	12	18	13	211
井戸堂	10	4	8	7	5	8	7	6	5	6	7	7	80
福住	15	9	8	3	9	14	11	7	7	12	10	7	112
柳本・式上	8	5	9	9	8	9	8	9	7	9	7	10	98
合計	146	128	150	111	106	123	139	132	133	139	139	140	1,586

※① 大雨災害により、会場である公民館に避難所が開設されたため中止

※② 台風のため中止

## (3) うれし・たのしや交流会の実施

ふれあい教室やふれあいサロンの参加者が一堂に会し、それぞれの教室の成果発表と、サロンの紹介をしました。

### ◎成果と評価

ふれあい教室やサロンの参加者が集い、普段の活動の発表やゲストの公演、大抽選会などで交流を深めることにより、他の地域の教室・サロン活動を見て、各々のこれからの活動に活かすことができ、要介護防止活動にも繋がりました。

新たな試みとして、サロン参加者の方々に合唱しながらサロンの紹介(15カ所)をしていただきました。多くの方にサロン活動を知っていただくことで、新たなサロン立ち上げを考えていただく良い機会となりました。

期日／場所	内 容
平成 30 年 11 月 17 日（土） 午後 1 時 30 分～午後 4 時 天理市文化センター 参加人数 280 名	オープニング：天理大学 音楽部 女声コーラス 発表内容：健康体操・ミュージック・ケア・合唱（サロ ン紹介） ゲスト：落語 鹿之亭 ふんぶん 氏 抽選会

#### （４）ボランティア事業の活動支援

地域福祉にはなくてはならない住民参加のボランティア活動を支援するため、ボラン  
ティアセンターと連携し、支援すると共にボランティア活動保険加入の広報や手続きを  
行いました。

##### ◎成果と評価

安心してボランティア活動をしていただくため、ボランティア保険への加入の啓発に努  
めました。

引き続き、安心してボランティア活動が行っていただけるようボランティア保険加入を  
推進していきます。

保 険 内 容	件 数	備 考
ボランティア活動保険	655	(25 団体 616 名 個人 39 名)
ボランティア行事保険	15	
送迎サービス補償	1	
福祉サービス総合補償	2	

#### （５）災害ボランティアセンター設置・運営

災害ボランティア事前登録者を対象に研修会を開催しました。

##### ◎成果と評価

平成 30 年度は災害ボランティア事前登録者を対象に研修会を開催しました。  
令和元年度も、災害ボランティア事前登録者を対象に講習、研修を行います。  
ボランティアの事前登録いただける方を増やすために、積極的にボランティア団体等に  
呼びかけを行います。

期日／場所	内 容
平成 31 年 3 月 20 日（水） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分 天理市社会福祉協議会 参加人数 3 名	◆講演 演題「平成 30 年 7 月豪雨災害 倉敷市真備地区への派遣～災害ボラン ティアセンターでの活動報告～」 講師 北井 道治 氏 (天理市社会福祉協議会 職員)

## (6) こども食堂の推進

「こども食堂」は、地域の大人たちが、こどもを真ん中にした居場所をつくる取り組みです。

天理市内では、名称、主催団体、活動内容も多様ですが、あたたかなご飯を囲み、地域みんなでこどもを育てていく場として、創意工夫をしながら「こども食堂」の取り組みが広がっています。

### ◎成果と評価

今後も、「こども食堂」に対する相談には、天理市内で実践されている団体や奈良県社会福祉協議会等の関係機関と連携し、情報提供をすることにより、「こども食堂」に協力していきます。

## 【3】福祉団体の活動支援

福祉団体の活動がきめ細かく推進できるように活動支援を行いました。

### ◎成果と評価

福祉団体と共に、会議、研修会、イベント等の実施することにより、団体活動の支援を行いました。

今後も、福祉団体の活動がきめ細かく推進出来るように支援を行います。

## (1) 民生児童委員協議会の活動支援

### ◎成果と評価

民生児童委員協議会の住民福祉の増進を図るための活動を支援することにより、地域の見守り活動など、地域福祉活動をされている民生児童委員と、社会福祉協議会の情報共有を円滑に行うことができています。社会福祉協議会での事業に対しても、民生児童委員に協力いただいている事業も多く、連携を深め、適切に事業を実施していきます。

引き続き、支援を行うことにより、民生児童委員と社会福祉協議会の連携を密にし、地域福祉活動を推進していきます。

①役員会開催の支援	12回	
②総会開催の支援	4月13日	天理市文化センター
③研修会等の支援		
ア. 役員研修会	5月22日	備前市民生委員児童委員協議会との交流会
イ. 施設視察研修会	9月21日	A T Cエイジレスセンター
ウ. 施設視察研修会	11月1日	社会福祉法人 大阪自彊館
エ. 施設視察研修会	11月15日	社会福祉法人 大阪水上隣保館

## (2) 長寿会連合会の活動支援

### ◎成果と評価

長寿会連合会の活動を支援することにより、友愛活動（地域の見守り活動）などをされている長寿会と、社会福祉協議会の情報共有を円滑に行うことができています。また、グ

ランドゴルフ大会等のスポーツ大会や各種研修活動を支援することにより、高齢者の介護予防につながっています。

引き続き、支援を行うことにより、長寿会連合会、社会福祉協議会の連携を密にし、地域福祉活動を推進していきます。

#### ①シルバー大学開講の支援

前期	天理市文化センター	8月10日	参加者 152名
後期	天理市文化センター	2月13日	参加者 124名

#### ②研修会の支援

ア. 単位老人クラブ会長研修会	7月12日	参加者 82名
天理市文化センター		
イ. 役員研修会	1月16日	参加者 39名
奈良プラザホテル		

#### ③行事等の活動支援

ア. 敬老福祉大会	9月28日	参加者 310名	天理市民会館
イ. ペタンク大会	9月14日	参加者 134名	天理市健民運動場
ウ. グラウンドゴルフ大会	10月25日	参加者 272名	天理市健民運動場
エ. 市内老人福祉施設慰問	12月13日	参加者 5名	

・ふるさと園・やすらぎ園・福住光明苑・ひびきの郷・清寿園の5施設へ慰問

### (3) 障害者福祉団体連合会等の活動支援

#### ◎成果と評価

市内の障害者6団体で構成している、障害者福祉団体連合会の活動を支援することにより、市内在住障害者の社会参加、また、イベント等に参加し、障害者が社会を構成する一員として過ごせるように、連合会と伴に取り組みました。

引き続き、障害者が暮らしやすい“みんなで支え合う社会をめざして”という目標の実現を目指して、連合会と協働し進めます。

#### ①役員会・研修会の活動支援

ア 役員会3回開催 社会福祉協議会 会議室

イ 研修会

○第1回 視察研修 7月10日

大津にある「がんばカンパニー」を訪問し、就労継続支援A型雇用施設を見学しました。

○第2回 視察研修 2月7日

奈良市にある「東横イン近鉄奈良駅前」を訪問し、障害者優先室「ハートフルルーム」を見学しました。

○第3回 視察見学 3月5日

京都市にある「(社福)太陽の家」を訪問し、障害者の仕事や生活をサポートし、個

人の能力を発揮できる「場づくり」に取り組んでいる企業を見学しました。

②障害者（児）合同レクリエーションの活動支援 7月1日

障害者（児）とその家族が、野外でのレクリエーションを通じて相互にふれあい・交流を行い、それぞれの生活を明朗にすることを目的に開催されました。

長久手市 トヨタ博物館 参加者 228名

③障害者（児）家族の集い「はばたき祭」の活動支援 9月24日

開催当日に奈良県に台風が接近し、参加者の安全を考慮し、中止しました。

参加予定者 386名

④「障害者の日」記念事業の活動支援 12月3日

市民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加することを目的に開催されました。

天理市文化センター 参加者 168名

・第一部 記念式典

・第二部 記念講演

《講師》 佐野 有美氏

《演題》 「私があきらめない心」を語るなら

～マイナスをプラスにして努力する～

## 【4】共同募金事業への協力

### （1）赤い羽根共同募金

平成30年10月1日から、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施され、天理市においても、募金活動を行い、多くの方々から次の通り善意の募金が集まりました。

#### ◎成果と評価

毎年、多くの募金をいただき市内の福祉事業を行っている団体に助成を行っています。今年度は26団体に助成され、皆様方からの募金が有効活用されています。

平成30年4月4日に奈良県共同募金会より交付があり、要望団体に助成を行い、残金は社会福祉協議会の事業（※）に活用いたしました。

区長連合会や民生児童委員をはじめとし、多くの方々のご協力によりたくさんの善意の募金をいただきました。集まった募金は、市内の施設・団体の福祉活動に広く役立てられました。

※社会福祉協議会の事業 ふれあい交流会の開催・ホームページの管理費・地域福祉活動推進事業（サロン活動の推進等）・心配ごと相談事業

募金額は年々、減少傾向であり、少しでも多くの方々に共同募金へのご理解をいただき、募金協力をしていただけるよう、啓発活動等を検討していきます。



◆募金状況

区 分	金 額 (円)	備 考
戸別募金	1,843,150	自治会(町内会)等を通じて寄付をお願いする募金
法人募金	3,197,602	法人(企業)を対象をお願いする募金
街頭募金	43,231	駅前・スーパーの店舗前で通行人に寄付を呼びかける募金
学校募金	45,721	小・中・高等学校の児童生徒に呼びかけて行う募金
職域募金	142,616	官公庁などの職員の自発的な募金、クオカード募金、募金箱による募金
そ の 他	30,361	自動販売機募金・寄付付き商品の寄付による募金・利息
合 計	5,302,681	

◆助成状況

区 分	件数(件)	金 額 (円)	備 考
地域福祉活動	4	714,000	給食配食サービス・独居老人食事会
障害者(児)福祉活動	12	724,990	障害者(児)の余暇支援・文化活動援助
福祉団体助成	1	40,000	子育て支援
ボランティア活動育成	8	325,000	老人福祉施設奉仕、手話通訳等
老人福祉活動	1	300,000	長寿会事業
合 計	26	2,103,990	

※上記助成金は、前年度(平成29年度)に集まった募金から奈良県共同募金会より、奈良県共同募金会天理市共同募金委員会に、3,362,819円の配分を受け、審査委員会の審査を経て、市内福祉施設、団体及び福祉活動のため助成しました。

(2) 歳末たすけあい募金

平成30年12月1日から1ヶ月間実施され、低所得世帯に対する歳末見舞金に充てられました。

◆募金状況及び歳末見舞金

区 分	金 額 (円)	備 考
募 金 額	1,405,218	自治会(町内会)等を通じて寄付をお願いしました。
歳末見舞金	939,000	129世帯 313人

※差引額 466,218円は、共同募金配分金事業へ

【5】相談・援助活動の推進

(1) 心配ごと相談事業

民生委員・児童委員16名の方に相談員として協力していただき、毎週木曜日、9時から15時の間、天理市役所一階の相談室で、住民からの相談に応じました。

## ◎成果と評価

市民からの様々な相談の窓口となり、必要に応じて適切な関係機関へつなぐことにより、問題解決のお手伝いをさせていただきました。

引き続き、民生児童委員の協力のもと、広く市民の心配ごとの相談に応じていきます。

### ◆相談内容及び取扱件数

相 談 内 容	件数 (件)	相 談 内 容	件数 (件)
1. 生計	2	12. 財産	0
2. 年金	0	13. 事故	1
3. 職業・生業	0	14. 児童福祉・母子健康	0
4. 住宅	6	15. 教育・青少年	0
5. 家族	4	16. 心身障害者（児）福祉	0
6. 結婚	0	17. 母子福祉	0
7. 離婚	0	18. 父子福祉	0
8. 健康・衛生	0	19. 老人福祉	0
9. 医療	0	20. 苦情	0
10. 精神衛生	0	21. その他	3
11. 人権	0	合 計	16

## (2) 福祉資金の貸付援助

低所得世帯の自立支援と生活向上をめざし、これらの世帯に民生児童委員の協力を得て、生活資金の貸付及び償還業務を行いました。

### ◎成果と評価

低所得世帯に貸し付けを行うことで、生活に困窮した世帯の金銭的・精神的負担が軽減されています。貸付につながらないケースであっても、相談者の生活課題が把握でき、専門機関への支援につなげていくことができます。

奈良県社会福祉協議会が行う、生活福祉資金の貸付制度も内容が充実してきていますが、同制度を補完する貸付制度として、引き続き実施していきます。

### ◆福祉つなぎ資金及び母子福祉資金貸付状況

(単位：円)

区 分	平成 30 年度		平成 29 年度		比較増減	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
福祉つなぎ資金	15	717,000	15	674,000	0	43,000
母子福祉資金	0	0	3	150,000	△ 3	△150,000
合 計	15	717,000	18	824,000	△ 3	△107,000

## ◆福祉つなぎ資金及び母子福祉資金償還状況

(単位：円)

区 分	平成 30 年度		平成 29 年度		比較増減	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
福祉つなぎ資金	63	625,500	37	308,000	26	317,500
母子福祉資金	14	85,000	13	140,000	1	△55,000
合 計	77	710,500	50	448,000	27	262,500

## (3) 善意銀行の活用

市民の善意の預託（寄付金・物品）を地域福祉事業に役立てるとともに、預託者の意思を生かした運用を行いました。

## ◎成果と評価

市民、団体、企業等からの善意の寄付金・物品を、市民に還元していく制度として貢献しています。また、寝たきり高齢者に対する民生委員の訪問により、寝たきり高齢者のおられる世帯が地域とつながりをつくるきっかけとなっています。

引き続き、市民の善意を還元できるよう事業を実施していきます。

## ◆預託件数及び預託金・預託物品

(単位：円)

区 分	平成 30 年度		平成 29 年度		比較増減	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
預託件数及び 預託金	3	126,636	4	97,827	△1	28,809
預 託 物 品	車椅子 3台					

## ◆助成内容

## ○寝たきり老人への支援

民生児童委員の協力を得て、寝たきり老人にシーツを配布しました。

配布人数 210人                      シーツ代金 254,640円

## (4) 福祉自動車の貸出の推進

一般車両への乗降が困難な車イス利用者に車イスで乗降ができる福祉自動車の貸出を行いました。

・貸出件数 9件

## ◎成果と評価

本事業を行うことにより、車イス利用者の方々の移動の助けとなりました。

利用理由として、通院に利用されるケースが最も多くありました。

使用状況には余裕あり、車イス利用者の方が、レジャーやイベント等においても利用いただくよう広報をしていきます。

## (5) 車イスの貸出の推進

緊急又は一時的に短期間、車イスを必要とする方に対し、善意銀行に預託を受けた車イスを活用させていただき、貸出を行いました。

・貸出件数 132 件

### ◎成果と評価

在宅において通院や買い物等のため一時的に多くの方に利用していただきました。

行楽シーズン等に車イスが不足する時がありました。返却期日を守られないケースもあるため、より多くの方に利用いただけるよう、引き続き、貸出期間の管理を徹底していきたいと考えています。

## (6) 苦情解決の実施

本会事業の利用者からの苦情の適切な解決を図るため苦情解決担当者、苦情解決責任者及び中立な立場の第三者委員を定めています。

本年度は、利用者からの苦情の受付はありませんでした。

### ◎成果と評価

苦情を受け付ける窓口を設置することにより、本会の事業を安心して利用していただけています。苦情は提案であり、適切に対応することにより、より良いサービスを提供できる機会となっています。

引き続き、利用者の声を受け止める窓口としての役割を果たします。

## 【6】日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）の推進

認知症や知的・精神障害等により日常生活を営むのに支障がある人に対し、福祉サービスの適切な利用のため、関係機関と一体的に連携し支援の充実に努めました。

・契約者数 56 名（内訳 新規契約者数 12 名・解約者数 4 名・継続契約者 44 名）

平成 31 年 3 月 31 日現在の契約者数 52 名

### ◎成果と評価

本年度の新規契約が 12 名となり、契約者数が年々増加しています。また、解約者 4 名のうち 1 名が死亡、1 名が転居等、2 名が成年後見制度への移行に伴う解約となっています。

成年後見制度への移行のケースや相談も増えており、成年後見制度も本事業と共に、必要な制度として認識されてきています。

### ◆支援内容

(件数)

支援内容	平成 30 年度	平成 29 年度	比較増減	備考
利用に関する相談・助言	1,302	1,650	△348	福祉サービス利用に関すること。
行政手続等に関する援助	675	405	270	住民票等の届け出・郵便物の確認に関すること。
日常生活費の管理	695	465	230	預金の払い戻し、解約、預け入れ等
合計	2,672	2,520	152	

## 【7】広報活動の充実

### (1) 社協広報紙の発行

平成31年3月号の「町から町へ」への折り込みにより「社協だより てんり」第20号を配布し、ふれあいサロンの紹介や施設の案内などを行いました。

### (2) ホームページ及びフェイスブックの更新

ホームページ及びフェイスブックに、社協の組織、活動、施設の案内等全般にわたる内容を掲載しました。

ホームページアドレス <http://www.tenri-shakyo.jp/>

フェイスブックは、平成29年7月より運用を開始しました。

### (3) ポスターによる啓発

5月の児童福祉月間並びに9月の老人福祉月間において民生児童委員の協力をいただき、それぞれの啓発ポスターを各地域に配布しました。

#### ◎成果と評価

広報紙の発行やホームページ及びフェイスブックの更新をすることにより、社会福祉協議会の現状や開催事業の広報活動を行いました。

引き続き、広報紙の発行・ホームページの更新などにより、情報発信に努めていきます。

## 【8】受託事業の円滑な運営

### (1) 福祉バス運行管理の推進

福祉関係団体等の研修行事等の利便を図りその福祉活動をより一層活発化させるため、天理市福祉バス「ふれあい号」の運行管理の推進に努めました。

#### ◎成果と評価

今年度は72団体の利用があり、研修や視察などに有効に利用いただきました。

#### ◆利用状況

	利用日数（日）	利用団体（団体数）	利用者数（人）
平成30年度	84	72	1,639
平成29年度	82	67	1,450
比較増減	2	5	189

### (2) 杉の子学級事業

障害児を持つ家庭の子育てを支援するため、天理市が設置した療育教室杉の子学級に指導員1名を派遣し、日常生活における基本的な動作の指導、社会生活及び集団生活への適応訓練、保護者からの子育ての相談などにあたりました。

#### ◎成果と評価

指導員1名を派遣し、障害児を持つ家庭の子育てを支援しました。

引き続き、杉の子学級に職員1名を派遣し、事業を支援していきます。

### (3) 天理市立地域活動支援センターの経営（指定管理者の指定）

在宅で生活する障害者の必要に応じて、各種のサービスを提供し、自立の推進、生活の改善、身体機能の維持向上並びに家族の身体的・精神的負担の軽減を図るため、センターの運営を行ないました。

#### ◎成果と評価

地域活動支援センターの利用対象者は、「天理市にお住まいの18才以上65才未満で、日常生活を営むのに支障がある在宅の身体障害者(身体障害者手帳をお持ちの方)」です。

平成30年度の利用者では、入院また体調を崩された方が2名おられ、実利用者数・延利用者数の減少になっています。また、利用者の保護者で高齢の方が多くなってきており、入所施設の短期入所ショートステイ(一時的に入所施設で介護を受けるサービス)を利用される方が増え、利用者数の減少になってきています。

今後の取り組みとして、より多くの身体障害者の方に地域活動支援センターを利用していただけるよう、奈良県肢体不自由児者父母の会連合会、天理市自立支援協議会、社協だより、ホームページ等において、利用者募集を継続していきたいと考えています。

#### ①機能訓練事業

- リハビリ指導
- 歯磨き指導
- 音楽体操
- 健康体操
- 真美体操

#### ②社会適応訓練事業

外出(買い物他)

#### ③更生相談事業

介護等に関する相談

#### ④活動

##### ○創作活動

フラワーアレンジメント・トールペイント・書道・作品づくり

##### ○文化活動

ビデオ鑑賞・カラオケ

##### ○スポーツ活動

風船バレー・バドミントン

##### ○レクリエーション活動(季節行事)

夏祭り・クリスマス会等

#### ⑤給食サービス

- 食事の提供を行い、食事の準備(刻み食・粗刻み等)・食事介助及び

食事後の歯磨き介助

⑥入浴サービス

○寝たままの状態が入浴できる特殊浴槽の入浴介助

⑦送迎サービス

○車イスに乗ったまま乗降出来る、大型リフト車及び軽自動車での送迎

◆実利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30年度	10	11	11	9	10	10	10	10	9	10	10	10	120
29年度	12	12	12	12	12	11	11	12	11	10	11	11	137
比較増減	△2	△1	△1	△3	△2	△1	△1	△2	△2	0	△1	△1	△17

◆延利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
30年度	93	102	107	104	118	79	99	98	87	83	95	93	1,158
29年度	120	120	128	111	130	95	117	107	95	86	93	104	1,306
比較増減	△27	△18	△21	△7	△12	△16	△18	△9	△8	△3	2	△11	△148

(4) 生活福祉資金等貸付事務の推進

低所得世帯の自立及び失業者支援のため、奈良県社会福祉協議会が行う生活福祉資金貸付事業の貸付事務を受託し、民生児童委員の協力のもと適正な貸付事務を行いました。

(5) 臨時特例つなぎ資金貸付事務の推進

離職者を支援するために、奈良県社会福祉協議会が行う貸付の事務を行います。離職などに伴って住居を喪失し、その後の生活維持が困難である離職者を対象とし、公的給付制度又は公的貸付制度（失業等給付・就職安定資金融資・住宅手当・総合支援資金貸付・生活保護等）の申請者が、当該給付金又は貸付金の交付を受け取るまでの生活費を借り入れるための申請事務を行いました。

◎成果と評価

平成27年度より生活困窮者自立支援法が施行され、生活困窮者自立支援制度と連携して、相談者の自立に向けた支援を行いました。

引き続き、関係機関と連携を図りながら、より相談者のニーズに対応できるよう支援していきます。

◆相談件数、貸付件数及び貸付金額

(単位：円)

区 分	平成 30 年度		平成 29 年度		比較増減	
	相談件数	金 額	相談件数	金 額	相談件数	金 額
	貸付件数		貸付件数		貸付件数	
総合支援資金	18	1,611,000	17	575,000	1	1,036,000
	2		2		0	
福祉資金	73	440,000	56	900,000	17	△460,000
	5		2		3	
教育支援資金	24	2,086,000	37	7,182,000	△13	△5,096,000
	4		10		△6	
不動産担保型 生活資金	3	0	5	11,200,000	△2	△11,200,000
	0		1		△1	
臨時特例つなぎ資金	10	400,000	9	300,000	1	100,000
	4		3		1	
合 計	128	4,537,000	124	20,157,000	4	△15,620,000
	15		18		△3	

\*相談件数については、相談者が借入申請書を提出するまでの間に、相談を受けた件数

同一人物から複数回の相談を受けた場合、延べ件数を計上

- 総合支援資金：失業などにより、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのため継続的な相談支援（就労相談、家計指導等）と生活費及び一時的な資金を必要とし、貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯に貸し付ける資金
- 福祉資金：低所得世帯、障害者世帯又は高齢者世帯に対し、貸し付ける資金
- 教育支援資金：低所得世帯に属する者が高校、大学又は高専に修学するための経費
- 不動産担保型生活資金：低所得の高齢者世帯に対して、一定の住居用不動産を担保として生活資金を貸し付ける資金
- 臨時特例つなぎ資金  
：公的給付制度又は公的貸付制度の給付金又は貸付金の交付まで貸し付ける資金

(6) 奈良県フードレスキュー事業の推進

生活福祉課題を抱えている相談者のなかで、喫緊に生活上の困難に直面している相談者に対する、緊急食糧支援事業を奈良県社会福祉協議会より受託し、緊急の支援を必要とされている方々に寄り添い、安定・安心した生活に向けた相談支援を行いました。

・支援件数 9件

◎成果と評価

社会福祉事務所と連携を図りながら、相談者の自立を支援していく中で、喫緊に生活困窮されている相談者を対象にフードレスキューとして食品をお渡ししました。引き続き安心・安定した相談支援活動を実施していきます。



(7) 【公益事業】天理市障害者ふれあいセンターの受託経営（指定管理者の指定）

障害者（児）の教養、文化、スポーツ、健康増進等に係る活動の推進を図り、地域住民との「ふれあい」交流の場として運営を行い、相互の友愛と障害に対する理解を深め、福祉の増進に努めるため、次に掲げる各種教室、講演会などを開催しました。

また、施設（アリーナ・会議室等）の貸し出しも行いました。

◎成果と評価

各種教室は知的障害者（児）・身体障害者（児）並びに精神障害者（児）を対象としているので、その日の気温、天気、本人の体調により来れない日もあり、月別の参加人数にはばらつきがあります。貸館業務の利用件数は145件減り、利用者数は2,669人減っています。

天理市障害者ふれあいセンター事業活動「スポーツ教室・文化教室・講演会・ふれあい交流会・貸館業務」を、すべての市民に知っていただき、利用・参加していただくために、積極的な啓発活動「広報紙への掲載・市内の公共施設並びに障害者施設へのポスターとチラシの設置・天理市ホームページ(e-やん天理の利用)」を行いました。

◆各種教室開催状況

教室名		開催回数 (回)	受講者数		
			障害者(人)	一般(人)	計(人)
文化 教室	カラオケ教室	16	23	43	66
	書道教室	5	25	15	40
	音楽教室	7	22	31	53
	身体障害者パソコン教室	20	120	—	120
	知的障害者パソコン教室	20	114	—	114
	陶芸教室	14	46	17	63
	合計	82	350	106	456
教室名		開催回数 (回)	受講者数		
			障害者(人)	一般(人)	計(人)
スポ ーツ 教室	バドミントン教室	15	31	20	51
	感覚統合遊び教室	7	56	82	138
	3B体操教室	7	139	31	170
	合計	29	226	133	359

◆療育教室講演会 1回開催

知的障害児の発達・発育が気になる保護者の方を対象に講演会を開催しました。

期日／場所	内 容
平成 30 年 12 月 8 日（土） ふれあいセンター（会議室・研修室）	演題 「音楽を きいてみよう かんじてみよう さわってみよう！」 講師 藤本 富美子 氏(音楽療法士) 波多野 淳代 氏(音楽療法士) 上大谷 寿香 氏(アルトサックス演奏) 参加者 27 名（内訳 障害児 20 名 スタッフ 7 名）

## ◆施設の貸出状況

(単位：人)

区 分	平成 30 年度			平成 29 年度			比較 増減
	障害者	一般	合計	障害者	一般	合計	
アリーナ	1,559	7,322	8,881	2,255	8,806	11,061	△2,180
会議室	357	2,099	2,456	347	2,407	2,754	△298
研究室	361	1,982	2,343	333	2,338	2,671	△328
教養文化室	65	97	162	137	206	343	△181
視聴覚音楽室	445	1,265	1,710	457	1,307	1,764	△54
多目的ルーム	1	3,463	3,464	0	3,043	3,043	421
I Tルーム	233	60	293	266	76	342	△49
合 計	3,021	16,288	19,309	3,795	18,183	21,978	△2,669

## ◆利用状況

区 分		運営日数 (日)	室利用件数 (件)	利用者数 (人)	利用料金 (円)
平成 30 年 度	4月	27	179	1,600	21,300
	5月	28	179	1,775	16,600
	6月	30	188	1,734	17,900
	7月	29	170	1,469	21,600
	8月	29	154	1,346	18,600
	9月	25	180	1,595	18,900
	10月	30	190	2,148	20,050
	11月	28	183	1,669	17,150
	12月	26	161	1,476	13,700
	1月	27	175	1,299	19,800
	2月	27	156	1,401	25,200
	3月	30	190	1,797	19,000
	合計	336	2,105	19,309	229,800
平成 29 年度		336	2,250	21,978	287,200
比較増減		0	△145	△2,669	△57,400

## ◆ふれあい交流会開催

障害者と地域の人々などが、一堂に会しおもちや作り体験、和太鼓演奏、感覚統合遊び、真美体操、バンド演奏、全員参加型クイズ、模擬店、利用者団体等の活動発表、抽選会などを通じて楽しく意義のある交流を図れました。

平成 30 年 10 月 7 日 (日) ふれあいセンター・アリーナ 参加者 418 名